



日鶏協 回覧板

令和2年7月27日

会員皆様へのお願い

(一社) 日本養鶏協会
会長 齋藤 利明

今までの経験が通じないコロナ後の対応に向けて —需要に見合った生産へのお願い(その3)—

本日7月27日の標準取引価格は149円/kgとなり、ついに150円を割ってしまいました。

5月25日に緊急事態宣言が解除され、外食・加工向け需要が再び戻ってくるとの期待もありました。しかし伸びの見られた量販店向けも頭打ちで、再び首都圏を中心に新型コロナウイルスの新規感染者が増大し、外食需要は再び低落、加工向けと合わせても需要は昨年比75%ほどで推移との情報もあります。

外食・加工向け需要はいずれコロナ以前の水準に戻るだろうという安易な予測は危険で、私はコロナ後の鶏卵需給は構造的に変容していくのではないかと、いう危惧を抱くところです。

今般の情勢を鑑みれば、まずはこの夏場の不需要期を乗り切ること、そのために需要に見合った生産に取り組むことが鶏卵生産の喫緊の課題と考えます。この対応を誤ると、コロナの影響もあり秋口以降の鶏卵価格に暗い影を落とすのは火を見るより明らかです。

需要に見合った生産のためには、会員一丸となって積極的に誘導換羽を指向し、ひなの導入を可能な限り抑制していただくことが必要です。

また第4期の成鶏更新・空舎延長事業は以下の新たな項目を新設しました。

- ① ひなの再導入率を4割から3割に低減
- ② 空舎期間90日から120日未満の追加

この事業の需給調整機能がより一層発揮できるよう、上記の新たな項目を取り入れて事業に参加いただくことも重要と考えます。

この国難を乗り越えて、コロナ後の日本に対応できるように、鶏卵産業が再び活力を取り戻せるように、日本養鶏協会の会員が一丸となって需要に見合った生産をされますよう、日本養鶏協会の会長として重ねて会員の皆様へお願い申し上げます。

趣旨をご理解の上、ご協力のほど、よろしく願いいたします。